

You Are Not Alone 東京大会で起きた奇跡

兵庫頸髄損傷者連絡会 土田浩敬

こんにちは。

皆様まだまだ暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。去る5月30日、31日に行われました、全国頸髄損傷者連絡会・全国総会「東京大会」へ参加した報告としまして、皆様にお伝え致します。

前兆

出発当日天気は良好、幸先がいいです。私達車椅子ユーザーは、雨が降っては身動きがとれないですからね。意気揚々と新大阪から、のぞみに乗って到着駅であるJR品川駅へ出発！

新幹線に乗っている時は、さながら修学旅行気分。毎回、新富士駅辺りで富士山が見えるか気にして外を眺めるのですが、今回は生憎の曇り空。富士山は厚い雲に覆われ見ることが出来ません。季節的に見えにくい時期ということです。たわいもない話を介助者と交わしながら、三島、熱海と駅を通過して時間通り品川駅に到着。行動を共にする、IさんMさんも一緒です。まずは一つ目の目的地である、スカイツリーへ。



スカイツリーにて…雲の隙間から
パラパラと雨が落ちてきて、幸先良かった出発

時とは打って変わっての雨模様。これはスカイツリーへ登っても、何も見えないパターン。前もってチケットを予約していたので、行かないというわけにもいかないの、スカイツリーへ向かいます。予定していた時間通り、14時頃に到着。ここで、一足先に来られていたMさんとも無事に合流。チケットを受け取り、展望フロアへ上るエレベーターに乗り込みます。このエレベーターはとても広くて、電動車椅子が4台余裕で入ります。展望フロアに着いて外を眺めると、一面真っ白…想像通りといたしますか、皆様行かれる機会がございましたら、是非晴れの日に訪れる事をお勧めします。

私達が次に向かうのは、美味しい寿司を食べに築地へ。東京に来たのですから、江戸前寿司を味わわないわけにはいかないでしょう。江戸前寿司とは江戸前の豊富で新鮮な魚介類を材料とし、寿司職人が作る寿司のようです。東京頸損のFさんから情報提供して頂いたお店に到着。事前に予約していたので、スムーズに店の中に。しかし、全部で車椅子が4台なので、みんなが席に着くのに一苦労です。四苦八苦しりましたが、お店の方が親切に対応して下さい、気持ちがいいです。この様な気配りをして頂けると、必然とまたこの店を訪れたいと思います。一息ついてから、お店のお勧めメニューを注文。朝早くから行動していましたが、気温も低く、体力を消耗しています。美味しい寿司を食べて、エネルギー補給です。



見るからに美味しそう！

ネタも新鮮で、シャリも程よい柔らかさで、あっという間に完食。



眩く光る東京タワー

最後の目的地、東京タワーへ。最寄り駅の赤羽橋に着いたとたん、またしても、雨が…小雨なので頑張って向かいます。ライトアップされた東京タワーを目の当たりにし、疲れが一気に吹き飛びました。雨の降る中、オレンジ色に光る東京タワーは、とても幻想的です。

東京タワーに登ってみると雨。だんだんと酷くなって来ました。雨がキツくなってくると、駅まで帰ることができません。すなわち、ホテルにたどり着けません。もう最終手段でゴミ袋を頭から被り、雨を凌ぐ事によって駅まで戻ることができましたが、皆さんは雨具を常備して下さいね。その後、無事にホテルにたどり着きました。1日目は車椅子の乗車時間が15時間を超えて疲れしました。しかし、一日中車椅子の背中からから“ギィギィ”と異音が…現在乗っている車椅子は8年が経過しました。そりゃ音もしますよね。次の日の朝、大変なことが起こることは、私はまだ知る余地はありませんでした。

緊急事態

全国総会当日、いつもの様に目が覚めて起床準備

を始めます。「昨日はほんと疲れたよね～」などと介助者と雑談を交わしながら、眠気が抜けきっていない2人。「そろそろ、車椅子に乗りましょうか」助っ人を呼び3人がかりで私を抱えて「よいしょ！」無事に着地。ここまでは、良かったのです。移乗後はお尻が定位置ではない事が多いのです。今回も少し左へ寄っているの、人力で右方向へ「よいしょ！よいしょ」の後、上半身がいつも以上にバタッと倒れました。あれっ、おかしな、チルトしていた車椅子を元に戻してもらうために、介助者に頼み上半身を起こすのですが、全く起き上がりません。異変を感じ、介助者に「背パイプの付け根見てみてよ」と見てもらうと、そこには青ざめた表情の介助者が2人。「土田さん！これヤバイっすよ！パイプが根元から折れていますよ！」と慌てふためく介助者。私も血の気が引きました。チルト機能しか備わっていない私の車椅子がフルリクライニング状態です。



フルリクライニング状態

状況をMさんに伝え、Mさんの介助者が見に来ましたが、介助者2人に支えてもらっている私を見て、「あ～っ」と一言。言葉が見つからなかったのでしょうか。Mさんにその状況を伝えてもらい、MさんからFさんに状況を伝えてもらって、Fさんから車椅子業者のS工房さんへ。どうしようも

ない私はとりあえず、ベッドに戻りました。そういえば、昨日は車椅子からギィギィ音がしていたな。これが原因だったのか。関西に帰れないかもしれない。と良からぬことを考えていると、MさんとFさん、そして東京頸損会長のKさんから電話を頂きました。そしてFさんから、いま車椅子業者が向かっているという情報を頂き、少し希望が持てました。ベッドで横になり、折れた背パイプを眺めていると、車椅子業者のS工房さんから電話があり、「直ぐに伺います」と。部屋の番号を伝えて、しばらくすると「車椅子業者のS工房です」部屋に入って頂き、状況確認「持って帰って溶接してみますね。こちらリクライニングの車椅子をお貸ししますので」本当に助かりました。

車椅子に乗り、微調整を施して頂き「折れた背パイプをよろしくお願ひします」と何度もお願ひし、一旦工房へ持って帰って頂きました。リクライニング車椅子をお借りすることができたので、全国総会に参加出来ます。



リクライニング付きの車椅子に乗って

総会の前に、災害時の対策としてワークショップを行いました。災害時、いろいろなことが想定されるなか、みんなで意見を出し合います。今回、車椅子の背パイプが折れたのと同じように、災害もいつどのような時に起こるのか分かりません。

日頃から備えておく必要があるということです。今回は私を例に挙げて司会の方が進めて下さりました。ワークショップを機に、改めて災害時について考え直すことができました。

ワークショップの後は総会、そしてレセプションです。その間、介助者に車椅子を押してもらっているのですが、少しリクライニング車椅子に慣れて来ましたが、電動車椅子の有り難みがよくわかります。私自身も行きたいところに行くことができ、介助者も押さなくていいので、その他の介助に集中出来ます。当たり前のようにある、電動車椅子に感謝しなくてはと思った次第でした。レセプションでは、美味しい食事と合わせて、全国津々浦々から集まった頸損の皆さんと交流し、情報交換することが目的です。このような機会ではしか交流することができません。神奈川のHさん、東京のSさん、京都のMさん、大阪のSさん。大阪のSさんは、役員会やイベントではいつもお世話になっています。このような時に食事をしながら過ごすのも新鮮です。レセプションも終盤に差し掛かるころ、S工房さんから連絡が入りました。車椅子が治ったとの事で「今晚部屋に車椅子を持っていきます」と。Mさん介助者からMさん、Fさん、そしてS工房さんとバトンが繋がり無事に車椅子の背パイプが治りました。根元からポッキリと折れていたの、治るのが不可能に近い状態でしたが、溶接補強して頂いたので、以前よりも背パイプがしっかりと戻って来ました。

大会を通じて

車椅子が治ったことは本当に奇跡のような出来事です。皆様がなければ私はどうなっていたのか分かりません。頸損者が繋がり、まさしく頸損連絡会が存在する意味というのが、あるのではと思いました。災害時の対策と同様に、日頃からの点検、異変に気が付いたら、事が起きる前に対策をうたないと、今回の様なことになるという事です。そして、車の様に車椅子も何年か毎に車検の様な点検も行なっていけば、より安心、安全に車椅子を利用でき、車椅子ライフも充実して行くのではと思いました。

「You Are Not Alone」 一人じゃないよ

私が、実感した今回の全国総会東京大会でした。